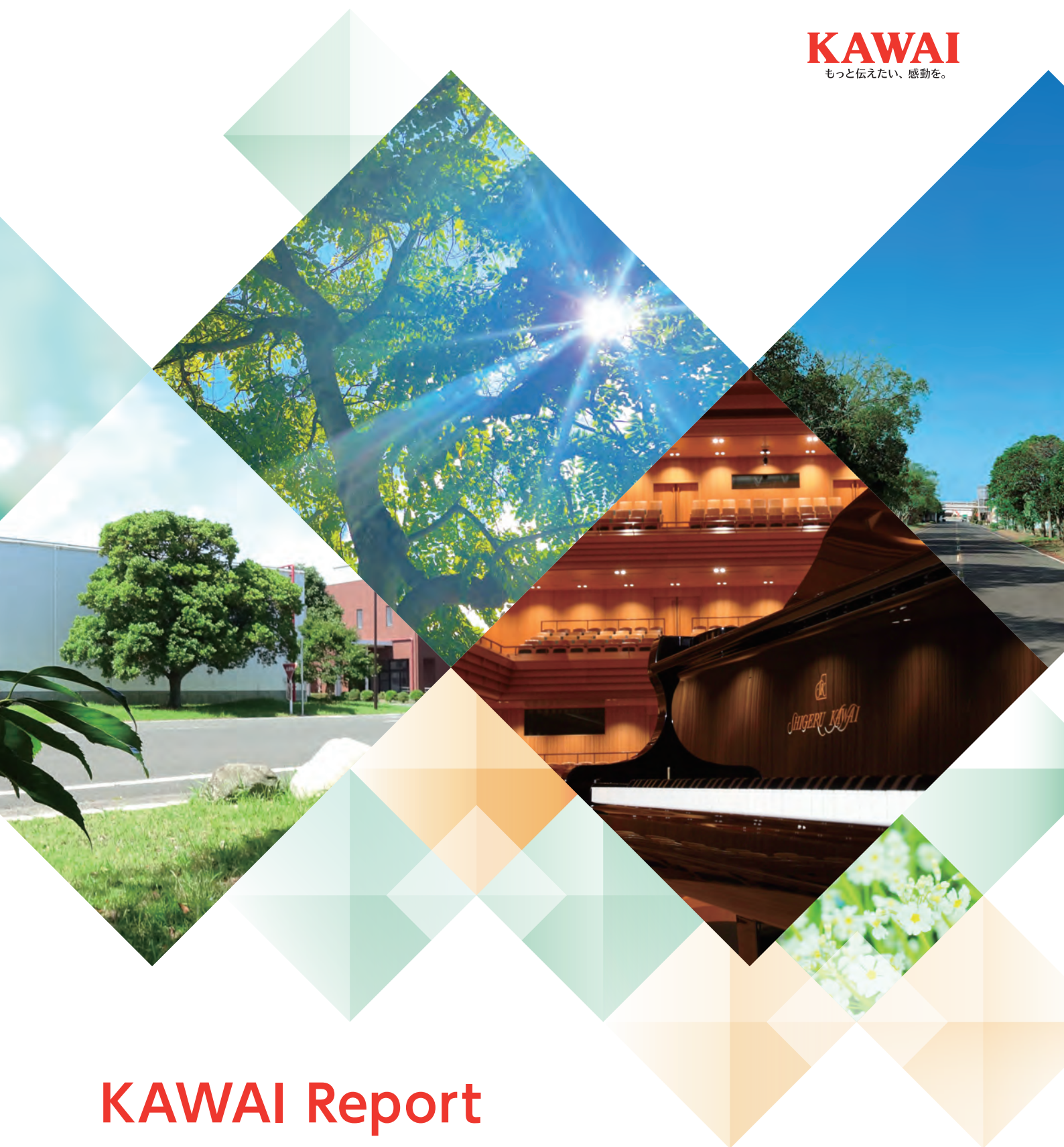


KAWAI
もっと伝えたい、感動を。



KAWAI Report

2022

Sustainability
Environment
Social
Governance



Kawai Musical Instruments Manufacturing Co., Ltd.
Kawai Report 2022

経営の理念

創造性豊かな好感度企業をめざして …

快適で豊かな生活環境を創造します
お客様の満足を第一に商品・サービスを提供します
新しい時代に向かって企業活動を推進します
社員を大切にし、明るい企業をめざします

行動指針

現状に満足せず、常に開拓者精神に燃えて …

失敗を恐れずアグレッシブに行動しよう
常に向上心を持ち自己研鑽に励もう
豊かな創造性を発揮し、変化する時代に挑戦しよう
自然との共生を大切にし、社会に役立つ活動を積極的に行おう
音楽文化の担い手として、自信と誇りを持って行動しよう

創業以来私たちはより良い楽器づくりと音楽文化への貢献を目的として
企業活動を続けてきました。

社会や産業の構造が大きく変化し続ける現在において、より幅広く人々の
生活文化に貢献してゆくために、カワイは経営の理念及び行動指針に則り、
企業活動を推進してまいります。

目次

カワイグループについて

経営の理念・行動指針	1
トップメッセージ	3
カワイグループのあゆみ	4
第7次中期経営計画「Resonate 2024」の概要	5

サステナビリティ

サステナビリティ方針	7
環境・社会への取組み	8
取組みのポリシーと関連するSDGs	9

環境に対する取組み

地球環境憲章 / 環境推進組織	11
環境方針 / 環境マネジメントシステム	12
グリーン調達ガイドライン / 木材調達ガイドライン	13
環境負荷低減の目標と実績 / 地球温暖化防止	14
産業廃棄物排出量の削減 / 再資源化の取組み	15
「カワイの森」植林活動	16

社会に対する取組み

第18回 ショパン国際ピアノコンクール	17
第4回 Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール	18
カワイ音楽振興会 / 各種音楽団体への支援	19
中国での音楽文化の普及 / 新興国での音楽文化の普及	20
カワイ音楽教室 / カワイ音楽コンクール	21
体育・スポーツ教室 / スポーツコミュニティ	22
人財育成	23
ダイバーシティ	24
ワークライフバランス	25
健康経営	26
社会貢献	27

コーポレート・ガバナンスに対する取組み

コーポレート・ガバナンス基本方針	28
コーポレート・ガバナンス体制 / 内部統制システム	29
リスク管理体制 / コンプライアンス	30

資料編

会社概要 / 主な事業	31
マテリアルバランス	32
環境負荷サイト別一覧	33
第三者意見	34

編集方針

■ 内容

本レポートは、「環境社会報告書」から「KAWAI Report」に改称しました。

従来の「環境社会報告書」の内容に加え“サステナビリティに関する取組み”について掲載した報告書となっています。各項目の方針（ポリシー）やSDGsとの関連を明らかにすることで、皆様にカワイグループの取組みをわかりやすく伝えるように努めました。

カワイグループの事業内容の詳細はウェブサイトをご参照願います。

■ 対象

お客様、お取引先、従業員、株主・投資家、地元住民・NGO、行政・国際機関など全てのステークホルダーの皆様を対象としています。

■ 報告対象期間

2021年度（2021年4月～2022年3月）を主体としていますが、一部重要な事項につきましては2022年4月以降の最新情報を含んでいます。集計方法の見直しなどにより既報データを一部修正し掲載した項目・数値があります。

■ 報告対象組織

(株)河合楽器製作所 本社 / 竜洋工場
カワイ精密金属(株)
(株)カワイキャスティング
(株)カワイハイパーウッド
(株)カワイ音響システム

TOP MESSAGE

トップメッセージ

長期ビジョン「100 年ブランドの確立」のもと
100 年、そしてさらにその先の継続的な発展に向け、
企業価値・ブランド力の向上と持続的な成長に
取り組みます。

代表取締役会長兼社長

河合弘隆



新型コロナウイルス感染症の拡大から既に2年が経過していますが、いまだ国内、海外において収束が見えておらず、先行き不透明な状況が続いています。そうした中で感染拡大防止のための医療活動に日々奮闘されています医療機関の皆様に敬意を表しあらためて感謝申し上げます。

さて、当社は第6次中期経営計画（2019 年 4 月から 2022 年 3 月）を終え、振り返りますと世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う環境の変化により、当社グループにおいてもサプライチェーンや、音楽教室、体育教室の事業運営など様々な影響を受けました。しかしコロナ禍での生活様式の変化や巣ごもり需要を捉え、『Shigeru Kawai』およびハイブリッド製品等の高付加価値製品や電子ピアノの販売が伸長し、最終年度の連結損益は業績目標を大きく上回ることができました。

また、去年は当社にとって快挙となる出来事がありました。我々にとって非常に重要なコンクールである5年に一度のショパン国際ピアノコンクールがポーランド・ワルシャワで開催されました。ファイナルでは過去最多となる3名のピアニストが当社フルコンサートピアノ SK-EX を使用され、そのうち2名が2位・6位を獲得したことは初めてであり、画期的なことで感慨無量でした。

2022 年 4 月からの3年間は、新たな事業環境での堅実な成長と位置づけた第7次中期経営計画がスタートしています。本計画では「顧客接点の進化」「需要拡大領域の強化」「コスト増への対応」を重点戦略として掲げ、100 年ブランドの確立に向け新たな事業環境に適合しながら堅実に成長し 100 周年に向けた盤石の体制を構築いたします。また、全てのステーク

ホルダーの皆様と協働して持続可能な社会を実現するためにサステナビリティ方針を策定いたしました。この方針に基づき、環境・社会に対する様々な課題に取り組むことで SDGs に貢献したいと考えております。その中でも、多様な人財が活躍できる職場環境を実現するためにダイバーシティの推進が不可欠となります。女性管理職の比率をあげ、外国籍従業員数を増やすなど人財の多様性を確保する取り組みに注力してまいります。

一方、気候変動や生物多様性の損失など地球を取り巻く環境問題は年々深刻になり、企業の果たす役割も重要になってきています。当社では 1994 年にカワイ地球環境憲章の制定、その憲章を受けて環境方針を定め、推進組織として地球環境委員会を設置しました。国内、インドネシア、中国の主な生産拠点では ISO14001 環境マネジメントシステムを導入し、地球環境に配慮した事業活動とグローバルな地球環境の保全への取り組みを進めています。地球温暖化の原因となる CO₂ 排出量の削減、資源有効活用のための廃棄物の削減、リサイクルによる資源循環などの環境負荷低減につながる取り組みと、CO₂ の吸収と生物多様性の保全を目的としたカワイの森育成活動を今後も継続し、地球環境保全に努めてまいります。

今後とも、皆様の一層のご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

カワイグループのあゆみ

1930

1927～1951年

- 1927 河合小市 河合楽器研究所を創立
ピアノの製造・販売を開始
- 1929 河合楽器製作所と改称
- 1935 合名会社河合楽器製作所と改組
- 1951 株式会社河合楽器製作所と改組

1940

1950

1960

1970

1989～1998年

- 1989 河合弘隆 社長に就任
- 1994 全社的な環境推進組織の地球環境委員会発足
- 1996 新経営の理念、行動指針制定
- 1997 カワイ精密金属(株)浜松事業所においてISO9002認証取得
竜洋工場においてISO14001認証取得 楽器業界で世界初
- 1998 (株)カワイハイパーウッドを設立

1980

1990

2000

2012年～

- 2012 中国に上海カワイ電子有限公司を設立
石川県羽咋市に(株)カワイキャスティング設立
河合楽器(寧波)有限公司においてISO14001認証取得
- 2013 上海カワイ電子有限公司においてISO9001認証取得
- 2014 (株)全音楽譜出版社を子会社化
ロシア モスクワ市にカワイピアノ・ロシアを設立
- 2015 アメリカ ヒューストン市に海外直営店第1号をオープン
カワイ精密金属(株)においてISO14001認証取得
東北復興支援「カワイの森」東松島市で植樹活動開始
- 2016 中国楽器協会と「ピアノ調律事業に関する基本合意」を締結
中国 北京市に河合楽器(中国)有限公司を設立
(株)カワイハイパーウッドにおいてISO14001認証取得
- 2017 第1回 Shigeru Kawai国際ピアノコンクール開催
アメリカ ダラス市に海外直営店第2号をオープン
(株)カワイ音響システムにおいてISO14001自己適合宣言
PT.カワイインドネシア第3工場においてISO14001認証取得
- 2018 フランス クールブヴァア市にカワイフランスSAS設立
ドイツ ハンブルグに海外直営店第3号をオープン
- 2019 「Shigeru Kawaiシリーズ」誕生20周年
- 2020 竜洋工場竣工40周年
上海カワイ電子有限公司においてISO14001認証取得

2010

2020



1927年 河合小市は河合楽器研究所を創立

1955～1985年

- 1955 河合滋 社長に就任
- 1956 カワイ音楽教室を創設
- 1961 ピアノ組立工場として舞阪工場完成
ピアノ調律技術者養成所(現カワイ音楽学園)を開校
- 1963 アメリカにカワイアメリカコーポレーションを設立
- 1967 カワイ体育教室を創設
- 1980 金属圧延加工のカワイ精密金属(株)を設立
グランドピアノ専門工場として竜洋工場竣工
- 1985 (株)カワイビジネスソフトウェア設立

1999～2011年

- 1999 最高級グランドピアノ「Shigeru Kawaiシリーズ」発売
- 2001 最高級フルコンサートピアノ「SK-EX」完成
インドネシアにPT.カワイインドネシアを設立
- 2002 中国に河合貿易(上海)有限公司を設立
- 2003 カワイ精密金属(株)浜松事業所においてISO9001認証取得
- 2004 カワイ精密金属(株)においてISO9001認証を全社に拡大
中国に河合楽器(寧波)有限公司を設立
- 2005 竜洋工場においてISO9001認証取得
- 2007 上海市内にカワイ音楽教室中国第1号教室開設
「カワイの森」インドネシア植林事業開始
- 2008 河合楽器(寧波)有限公司においてISO9001認証取得
PT.カワイインドネシア第3工場においてISO9001認証取得
- 2009 国内ピアノ生産工程を竜洋工場に統合
PT.カワイインドネシア第1第2工場においてISO9001認証取得
- 2011 インドネシアにPT.カワイミュージックインドネシアを設立
PT.カワイインドネシア第1第2工場においてISO14001認証取得



1955年 河合滋は小市の想いを受け継ぎ社長に就任

第7次中期経営計画「Resonate 2024」の概要

長期ビジョン

100年ブランドの確立

100年、そしてさらにその先の継続的な発展に向け、祖業であるピアノづくりで世界一を目指し、各事業の強みをさらに深化させ、お客様満足度の追求・向上と音楽文化の発展を通して、企業価値・ブランド力の向上と持続的な成長を図ります。

第7次中期経営計画「Resonate 2024」(2022年度～2024年度)



※ 2019年の前中期経営計画の時点では、2022年4月からの3年間は「成長の加速」と位置づけていましたが、巣ごもり需要等の影響を受けて当初計画よりも大幅に前倒しで収益が増大したことや、巣ごもり需要後の鍵盤楽器需要の不透明さ、サプライチェーンの混乱なども踏まえ、第7次中期経営計画の位置づけを「新たな事業環境での堅実な成長」に変更いたしました

● 基本方針

100年ブランドの構築に向け、新たな事業環境に適応しながら堅実に成長し、100周年に向けた盤石の体制を構築いたします。そして、100周年の「その先」を見据え、KAWAIが実現したい未来を描きます。

● 重点戦略

顧客接点の進化

顧客購買行動の変化に適応したプロモーション政策を強化し、リアル施策とデジタル施策を融合させて「より多くのターゲット顧客」に対して、製品・サービスの価値を「より分かりやすく」伝えていきます。

需要拡大領域の強化

ライフスタイルの変化により、ハイブリッド製品、デジタルピアノに対する需要が増加しており、こうしたニーズに応えるラインナップの拡充と生産体制の増強に取り組めます。

コスト増への対応

半導体などの材料費や海外輸送費の高騰によるコスト上昇に対応する為に、生産性の向上と販売価格の適正化を進めます。

● 基本戦略（楽器教育事業）

ブランド力の強化

- 「100 年ブランド」構築に向けた KAWAI ブランドの更なる強化

販売力の強化

- 楽器製造販売 各市場における高付加価値化とシェアアップの追求
- 音楽教育 音楽文化の振興と普及によるブランドの発信と鍵盤楽器の需要創造

製品・サービス力の強化

- ピアノメーカーならではの技術を生かした「顧客満足度」の絶え間ない探求

生産力の強化

- グローバル生産体制における QCDF ※の強化
(良い製品を、効率的に生産し、適時に、安定的に供給する)
※ Quality, Cost, Delivery, Flexibility

組織力の強化

- 機能面から組織を見直し、企業拡大のために必要な組織体制の構築と人員配置の実施



● 基本戦略（素材加工事業）

金属事業

- 車載向け新規品の受注拡大と増産体制の構築
- 既存品の横展開と新規品の受注
- 生産性向上のための設備投資の加速

音響事業

- 個人用途の拡大と法人市場の開拓
- 快適な音響空間の追求による新商品開発
- 増販に対応する為の生産体制の確立

● 連結業績指標

2025 年 3 月期	
売 上 高	90,000
営 業 利 益	6,800
経 常 利 益	6,800
当期純利益※	4,400

[単位：百万円]

2025 年 3 月期	
営 業 利 益 率	7.6%
R O E	10% 以上

※ 親会社株主に帰属する当期純利益です
為替の前提レート
US\$115 円、ユーロ 125 円、元 18 円

● 株主還元

今後の経営環境並びに事業展開を考慮し、経営基盤の安定化に向けた内部留保を確保しつつ、株主各位への安定的な配当及び資本効率の向上を目的とした機動的な株主還元を行うことを基本方針とし、総還元性向の向上を図ってまいります。

【将来の見通しに関する注意事項】

本ページ記載の内容には 2022 年 3 月 25 日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、技術革新、為替の変動等の不確定要因により、実際の施策、業績が記載と異なる可能性があります。

サステナビリティ方針

経営の理念「創造性豊かな好感度企業をめざして…」の実現に向け、
より良い楽器づくりと音楽文化への貢献を目的とした企業活動を通じて、
地球環境・社会との調和、さらには経営の健全性を確保することにより
企業としての持続的な発展に努めるとともに、
お客さまをはじめとした全てのステークホルダーの皆様と協働して
持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

Environment

各事業分野でグローバルな視野に立って地球環境と資源を守るとともに、
真に豊かな心と社会の実現に尽くしてまいります。

Social

音楽を通じて感動と満足をお届けする「感動製造業」として、
豊かでうるおいのある社会の実現を目指し、
全てのステークホルダーの皆様との良好な関係を構築してまいります。

Governance

持続的な企業価値の向上を実現するため、
法令やその他のルールを遵守し、
健全かつ透明性の高い経営の実践に取り組んでまいります。

カワイグループは、サステナビリティ方針を定め、中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

SDGs に対する取り組み

2015 年 9 月に開催された「国連持続可能な開発サミット」において「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が採択され、このアジェンダに記載された持続可能な開発目標 (SDGs:Sustainable Development Goals) は、17 の目標と 169 のターゲットで構成され、2030 年までに達成すべき目標として掲げられています。

カワイでは事業活動を通じてこれらの目標達成に向けて貢献してまいります。



環境・社会への取り組み

サステナビリティを巡る課題に対し、
環境・社会に関する取り組みを重点的にを行い、
企業としての持続的な成長を図ってまいります。

地球環境への取り組み

国内外での植林活動

- ・ インドネシアにて苗木を植林 (2007～総植林本数 75 万本 ※ 2022 年 3 月現在)
- ・ 東北地方にて海岸防災林再生支援のため植樹 / 保育を実施 (2015 ～)

環境負荷低減

- ・ 地球温暖化防止 (CO₂ 排出量削減)
- ・ 資源有効活用 (廃棄物削減)



ダイバーシティ推進

- ・ 女性活躍推進活動 (Love it!) を中心に、ワークライフバランスを実現するための取り組みを実施
- ・ 中核人材の多様性確保に向け、基本方針と数値目標を設定



	数値目標
女性管理職比率	12.5%
女性監督職比率	20.0%
外国人従業員数	15 名
中途採用者数	50 名

※達成時期：2025 年 3 月末

音楽文化振興

- ・ 1971～多彩な演奏家を招き、日本全国各地で 2,000 回を超える「カワイコンサート」を開催
- ・ 2017～次世代を担うピアニスト育成のため、Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールを開催



取組みのポリシーと関連するSDGs

	分類	指標	2021 年度実績
E Environment	環境負荷低減	- CO₂ 排出量 - CO₂ 排出量原単位 - エネルギー量原単位 - 廃棄物排出量 - 廃棄物排出量原単位 - 環境マネジメントシステム導入	○ 21,067t ○ 2018 年比 -15.8% (246kg-CO₂/百万円) ○ 2018 年比 -16.7% (4,907MJ/百万円) ○ 2,004t ○ 2018 年比 -17.6% (23.4 kg/百万円) ○ 10 事業所 (国内 5、海外 5)
	資源循環	- 再資源化率 - 下取りピアノ再利用率	○ 90% ○ 99%
	植林・植樹	- 植林本数 (インドネシア) - 植林面積 (インドネシア)	○ 累計 75 万本 ○ 累計 700ha
S Social	文化貢献	- 音楽団体の支援 - コンサートの開催	○ 日本ショパン協会、クロイツァー記念会、日本シマノフスキ協会の支援 ○ KAWAI PREMIUM CONCERT 開催
	教育・育成	- 発表会・コンクールの実施 - スポーツイベントへの参加・支援	○ カワイ音楽コンクールの実施 ○ 愛知県蒲都市体操フェスティバル
	人財育成	研修の実施	○ 新入社員研修、年次別研修、新任監督者研修、新任管理者研修
	ダイバーシティ	- 女性管理職比率 / 女性監督職比率 - 外国人従業員数	○ 管理職：3.3% / 監督職：12.9% ○ 9 名
	ワークライフバランス	- 育児休業取得率 - 配偶者出産休暇取得率	○ 女性：100% / 男性：21% ○ 53%
	健康経営	外部からの健康経営評価	○ 健康経営優良法人 2022、健康づくり活動に関する知事褒賞
	社会貢献	社会貢献活動への参加・支援	○ 工場見学の受け入れ、地域清掃、浜松市イベントへの出展
G Governance	コーポレート・ガバナンス	- 社外取締役数 / 社外監査役数 - リスクマネジメント委員会の開催 - コンプライアンス教育の実施	○ 取締役：2 名 / 監査役：2 名 ○ 定期的に開催 ○ 企業倫理月間における啓発活動、企業倫理ニュース毎月発行、コンプライアンス研修

ポリシー / 取組み	関連する SDGs
● 地球環境憲章に基づいて環境保全活動を展開しています ○ 地球環境憲章の制定 ○ 地球環境委員会の設置	
● 環境管理レベルの向上に取り組んでいます ○ 環境方針の制定 ○ 環境マネジメントシステムの導入	
● より環境負荷の少ない原材料・資源の調達を推進しています ○ グリーン調達ガイドラインの制定 ○ 木材調達ガイドラインの制定	 
● 環境負荷低減の取り組みを推進しています ○ 地球温暖化防止 ○ 資源の有効活用 ○ 省エネ法対応	  
● 資源循環の取り組みを推進しています ○ 産業廃棄物排出量の削減 ○ 廃棄物の再資源化 ○ 下取りピアノの再生	  
● 植林・植樹活動に取り組んでいます ○ インドネシアの植林活動 ○ 被災地の海岸防災林再生支援 ○ 竜洋工場緑化推進	 
● 次世代を担うピアニストを支援・育成しています ○ 第 18 回 ショパン国際ピアノコンクール ○ 第 4 回 Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール	 
● 音楽文化の振興に貢献しています ○ KAWAI PREMIUM CONCERT の開催 ○ 各種音楽団体への支援	 
● 海外での音楽文化の普及に取り組んでいます ○ 中国での音楽文化の普及 ○ 新興国での音楽文化の普及	 
● 教育活動を通じて個性を育み、より豊かな人格形成を目指します ○ カワイ音楽教室 ○ カワイ音楽コンクール	
● さまざまなステージで、健康づくりを総合的にサポートします ○ 体育、スポーツ教室 ○ スポーツコミュニティ	 
● 人財を大切にしています ○ 階層別研修 ○ 職種別研修 ○ 自己啓発支援	 
● 多様な人財が活躍できる職場環境の整備を進めています ○ 女性活躍推進 ○ グローバル人財の育成 ○ 中途採用者の雇用 ○ 障がい者の雇用	 
● 仕事と生活の両立を支援しています ○ ワークライフバランスの推進 ○ 育児休業取得推進	 
● 従業員と家族の健康づくりを推進しています ○ 健康経営の推進	
● 地域に根ざした社会貢献活動に取り組んでいます ○ サウンドデザインフェスティバルへの出展 ○ 工場見学の受け入れ	 
● 健全な企業経営体制を構築しています ○ コーポレート・ガバナンス基本方針制定 ○ 内部統制システムの構築に関する基本方針の制定	
● コーポレート・ガバナンス体制 / 内部統制システム ○ 内部統制システムの整備 ○ コーポレート・ガバナンス委員会の設置	
● リスク管理体制 / コンプライアンス ○ リスクマネジメント委員会の設置 ○ 企業倫理委員会の設置	 

環境負荷低減

地球環境憲章に基づいて環境保全活動を展開しています



● 地球環境憲章

カワイグループは、素晴らしい地球環境を後世に伝えるためには、総合的かつ継続的な取り組みが必要であると認識しています。世界の良き企業市民として環境の保全に努めつつ、人と地球にやさしい優れた商品を通じて社会からの信頼と共感を得ることができる道を進むために「地球環境憲章」を1994年に制定しました。

地球と人にやさしい企業をめざして

基本理念

『感動製造業』をモットーとする私たちは、地球市民の一員として環境と資源を守ると共に、真に豊かな心と社会の実現に尽くします。また、グローバルな視野に立って地球環境にやさしい企業を目指します。

豊かな人間性や快適な生活環境の創造を
優れた研究、優れた技術、優れた商品の創造を
環境に優しい生産・流通・販売活動の創造を

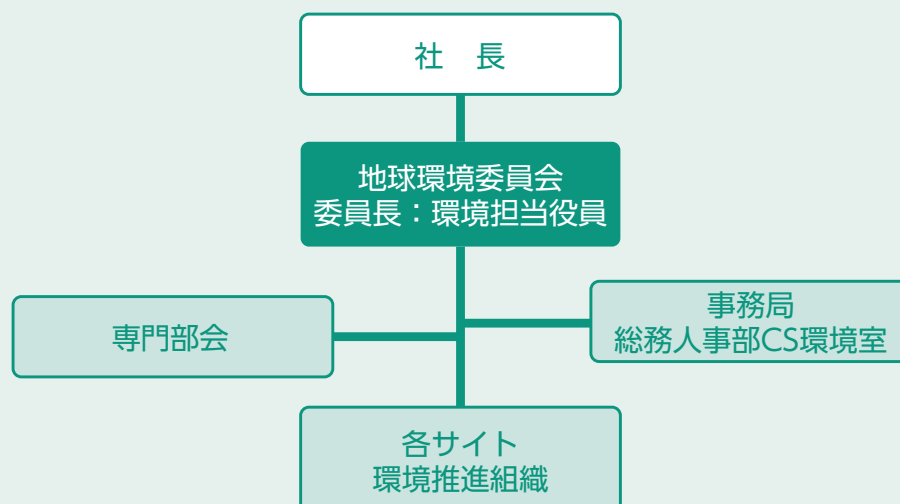
行動指針

1. 音楽文化産業として、各々の事業分野で人と音との良好な関係を築いていきます。
2. 様々な場面で、環境への影響を科学的な方法により評価し、必要な対応策を実施することにより、環境の保全と人の健康を守ります。
3. 資源の有効活用と省エネルギーの推進を図ります。
4. 製品の研究開発・設計段階からリサイクルと廃棄物発生量の減少を目指します。
5. 環境の保全活動に関し、国内外の要請に応え、地域との共生を目指して積極的に参画し、保護対策を実施します。

● 環境推進組織

環境経営を推進する組織として、1994年に環境担当役員を委員長とする地球環境委員会を設置し、環境保全に関する全社環境方針や目標を設定し活動しています。

また、専門部会を隔月で開催し、各サイトにおける環境目標に対する経過報告や、取り組みの情報交換を実施しています。



● 環境方針

カワイ地球環境委員会では「地球環境憲章」を受け「環境方針」を制定しています。

《有益な環境側面の発掘》《地球温暖化防止》《資源循環活用》《資源有効活用》《グリーン調達》等の推進に全社一丸となって邁進しています。

私たちは、楽器製造をはじめとする様々な事業の中で、環境への影響を配慮した活動を行い、地球環境の保全に向けた継続的な改善と汚染の予防に努めます。

1. 環境マネジメントシステムにより、環境負荷の低減や有益な環境側面を発掘し推進することを目標に設定するとともに、社会の期待や大きさに応じた定期的な見直しを実施します。
 - 1) 社会の期待と環境負荷に配慮した「製品、サービスの提供」「技術の開発」に努めます。
 - 2) 開発、生産、流通、販売、サービスなどの各部門において「地球温暖化防止」「資源循環活用」「資源有効活用」に努めます。
2. 必要な資源の調達・購入に際しては、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入します。(グリーン調達)
3. 環境に関連する法規制を遵守するとともに、その他の要求事項を考慮して自主的な基準を設け、環境管理レベルの向上に努めます。
4. 環境教育を通じ、全社員の意識向上を図るとともに、一人ひとりが広く社会に目を向け、日常業務や日常生活の中で自主的な貢献活動ができるよう啓蒙と支援を行います。
5. この環境方針を達成するため、環境管理担当役員を総括責任者とした環境管理の組織、運営制度を整備し、目標・計画・施策・責任を明確にして環境保全活動を展開します。

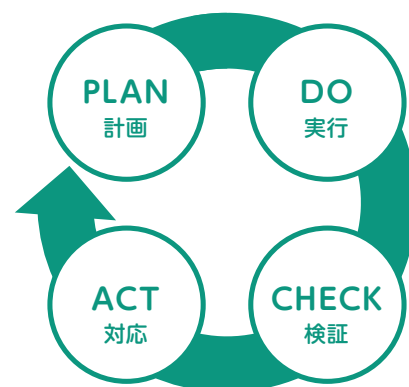
● 環境マネジメントシステム

カワイグループでは環境マネジメントシステム ISO14001 の導入を推進しています。現在、国内では竜洋工場、(株)カワイハイパーウッド、カワイ精密金属(株)が認証を取得し、(株)カワイ音響システムは、自己適合宣言を行っています。海外では PT. カワイインドネシア第1・第2・第3工場、上海カワイ電子有限公司、河合楽器(寧波)有限公司が認証を取得しています。

これらの事業所では環境マネジメントシステムで要求されている継続的改善のPDCAサイクル(計画・実行・検証・対応の繰り返し)をまわすため定期的に内部監査を実施し、進行状況や是正事項の確認を行っています。

また、認証取得事業所では、外部の認証機関による毎年のサーベイランス審査及び定期的な更新審査において、環境マネジメントシステムが有効に機能していることの審査を受けています。

今後も、より一層の環境負荷削減のため、グループ全体への環境マネジメントシステムの導入に取り組んでまいります。



環境マネジメントシステム導入拠点一覧

導入年	導入拠点
1997年	竜洋工場 (ISO14001 認証取得)
2011年	PT. カワイインドネシア第1・第2工場 (ISO14001 認証取得)
2012年	河合楽器(寧波)有限公司 (ISO14001 認証取得)
2015年	カワイ精密金属(株) (ISO14001 認証取得)
2016年	(株)カワイハイパーウッド (ISO14001 認証取得)
2017年	(株)カワイ音響システム (ISO14001 自己適合宣言) PT. カワイインドネシア第3工場 (ISO14001 認証取得)
2020年	上海カワイ電子有限公司 (ISO14001 認証取得)

環境負荷低減

より環境負荷の少ない原材料・資源の調達を推進しています



● グリーン調達ガイドライン

カワイグループでは必要な資源の調達・購入に際して、カワイ地球環境委員会の定める「環境方針」に基づき、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入するグリーン調達にグループ全体で積極的に取り組んでいます。

グリーン購入法やグリーン購入ネットワーク（GPN）の基本原則に準じたグリーン調達を推進し、環境負荷を総合的に低減することで、生物多様性の保全や循環型社会構築に積極的かつ継続的に貢献するよう活動しています。

基本方針

1. 調達の必要性を十分に考慮し、
2. 品質や価格に加え環境に配慮し環境負荷ができるだけ少ない製品やサービスを、
3. 環境負荷の低減に努める事業者から優先的に調達する。

適用範囲

- 事務所用品、部品、原材料、設備などカワイグループが調達する全ての物品・サービス。
- ・ 事務所等で使用する一般品（用紙、文具、コンピュータ等機器類、作業着、印刷物等）
 - ・ カワイ製品（OEM 含む）に用いる部品・原材料（梱包材、付属品等を含む）
 - ・ サービス等（通信、その他の役務）

調達基準として、法律、関連団体の基準、社内基準を遵守することはもちろん、天然資源への配慮から省資源、省エネルギー、処分やリサイクルまであらゆる段階での環境配慮がされていることが規定されています。

サプライヤー選定時にも環境に対する管理状況や省資源・省エネルギーへの取り組み、環境情報の公開状況などの配慮事項を定めて、購買部門よりお取引先様に対応をお願いしています。

グリーン調達ガイドラインの詳細は以下のウェブサイトでご覧いただけます。

http://www2.kawai.co.jp/company/activity/pdf/kg_20040130.pdf

● 木材調達ガイドライン

ピアノ等楽器の製造において木材は重要な原材料であることを認識しています。持続可能な資源である木材の調達におけるカワイのポリシーを明文化しました。

基本理念

カワイは、木を大切にし、保護・育成された森からの持続可能な資源である木材を、有効活用する、木材のグリーン調達を推進する。

基本方針

1. カワイは、持続可能な森林経営が営まれている森林から産出された木材を優先して調達する。
2. カワイは、木材調達において、森林を保全・保護・再生するという環境対策の推進や遵法に配慮する。
3. カワイは、調達した木材の適切かつ効率的な利用を推進する。
4. カワイは、再生材で生産された製品を優先して調達する。
5. カワイは、森林認証林産物等を優先して調達する。



環境負荷低減の目標と実績

地球環境委員会では、「地球温暖化の防止」や「資源循環と資源の有効活用」を目的として「地球環境憲章」と「環境方針」のもと、環境負荷低減に取り組んでいます。

CO₂ 排出量と廃棄物排出量の売上高原単位で 2018 年度を基準年として毎年 1%削減することを 2019 年度～2021 年度の 3 ケ年計画の目標値と決めました。従って、2021 年度は、2018 年度比 3%削減を目標値として取り組んできました。

2021 年度の実績を下表に示します。CO₂ 排出量原単位は 2018 年度比 15.8%減少、廃棄物排出量原単位は 2018 年度比 17.6%減少となり、目標値を達成できました。

廃棄物に関しては、生産工程の見直しによる不良率の低減や、鋳物製造部門の生産と工程の合理化によって鋳さいの発生量を削減したことなどが大きく影響しています。

	指標	年度	2017	2018 (基準年)	2019	2020	2021	増減	評価
地球温暖化防止	CO ₂ 排出量原単位 (kg-CO ₂ /百万円)		311	292	279	278	246	- 15.8%	◎
資源有効活用	廃棄物排出量原単位 (kg/百万円)		27.9	28.4	26.2	25.0	23.4	- 17.6%	◎
(参考値)	エネルギー量原単位 (MJ/百万円)		6,201	5,891	5,655	5,636	4,907	- 16.7%	-
	廃棄物排出量 (総量) (t)		1,976	2,058	1,869	1,689	2,004	- 2.6%	-

評価 ◎:達成 ×:未達成

地球温暖化防止の取り組みと省エネ法対応

カワイグループでは地球温暖化防止の取り組みを環境経営の重点項目と位置づけ、省エネルギー施策を実施することによって、エネルギー使用による CO₂ 排出量の削減を推進しています。

カワイグループ国内全体の 2021 年度の CO₂ 排出量は京都議定書基準年の 1990 年度に比較すると 28%の削減となっています。省エネ法（エネルギー使用の合理化等に関する法律）は、一定以上のエネルギーを使用している会社（特定事業者）にエネルギー使用の合理化のためのエネルギー管理を義務づけ、エネルギー使用量の実績報告や中長期の省エネ計画を届け出ることを規定しています。

カワイグループでは(株)河合楽器製作所、カワイ精密金属(株)、(株)カワイキャスティングが特定事業者に、ピアノ製造の竜洋工場、金属加工のカワイ精密金属(株)本社・浜松工場、鋳鉄鋳物製造の(株)カワイキャスティングの 3 工場が第二種エネルギー管理指定工場に指定されています。

2021 年度は、(株)河合楽器製作所が 6 年連続、カワイ精密金属(株)は昨年度から継続して、省エネ法の事業者クラス分け評価制度にもとづく優良事業者の S クラス* の評価を受けました。

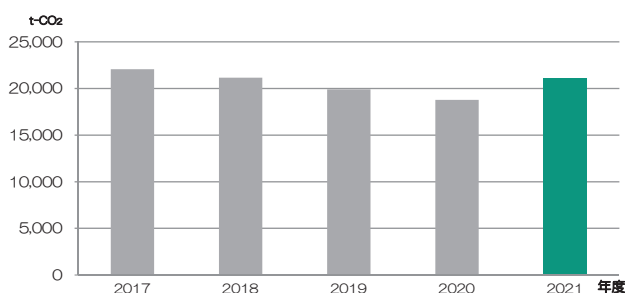
(*: エネルギー消費の 5 年間平均原単位を年 1%以上削減する努力目標を達成した事業者)

今後もグローバルな観点からエネルギー使用量と CO₂ 排出量の削減に取り組んでまいります。

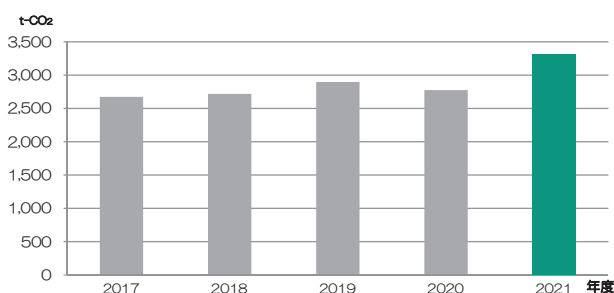
【CO₂ 排出量削減のための省エネルギー施策】

- 省エネルギーに配慮した工場設備の導入
- LED 照明への更新
- 再生可能エネルギー使用検討
- 電力会社と共同の定期的な省エネ診断の実施
- オフィスでの「クールビズ」「ウォームビズ」運動の実施

国内事業所 CO₂ 排出量



海外生産系事業所 CO₂ 排出量



資源循環

資源循環の取り組みを推進しています

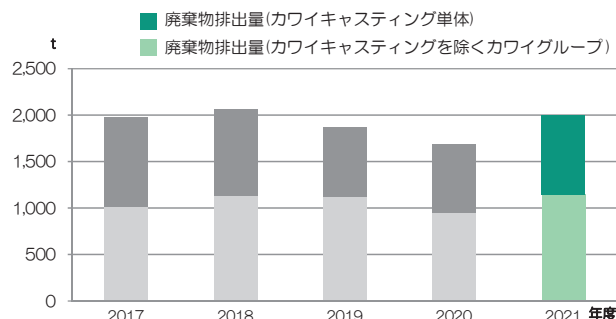


産業廃棄物排出量の削減

カワイグループの産業廃棄物排出量は、2012年度にピアノフレーム製造の(株)カワイキャスティングがグループの一員となり、鋳物製造時に生じる大量の鋳さいが廃棄物として排出されたため、3,203tにまで増加しました。その後、生産ラインの合理化や生産効率の改善に取り組み廃棄物排出量の削減に努めてまいりました。

2021年度のカワイグループ全体の産業廃棄物排出量は、生産量増加に伴い2,004tと前年度からは増加していますが、2012年度比で37.5%削減、3ヶ年計画の基準年(2018年度)比で2.6%の削減となりました。

産業廃棄物排出量

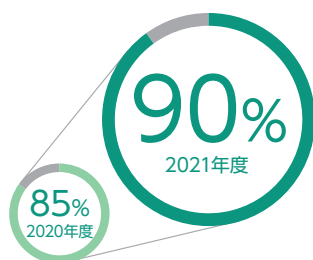


再資源化の取り組み

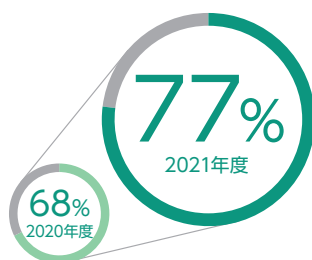
2012年度の(株)カワイキャスティングの再資源化率は39%でしたが、鋳さいの路盤材などへの活用を進めたことにより、2021年度には77%に改善しています。これに伴い、カワイグループ全体の再資源化率は2012年度57%から2021年度90%まで向上しています。

カワイグループ全体で産業廃棄物の排出量が最も多い竜洋工場では、産業廃棄物の木くず、木粉を製紙原料、ボード原料、堆肥、燃料等に、フェルト屑を堆肥等に、塗装廃棄物を無害なエコストーンに活用する等により、再資源化率100%を達成しています。

カワイグループ再資源化率



カワイキャスティング再資源化率



竜洋工場再資源化率

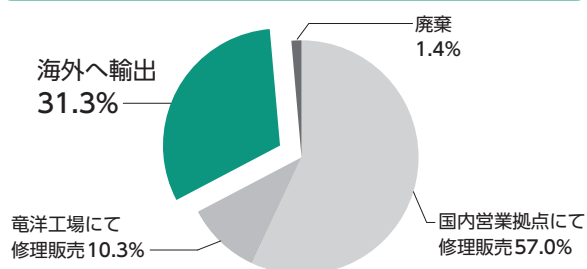


リサイクル・リユースの取り組み

循環型社会形成推進のための拡大生産者責任の考え方を踏まえて、ピアノの再生とリユースを推進しています。現在、国内統括部の中古ピアノ担当グループが竜洋工場内で本事業を担当しています。下取りしたピアノを再生し、新たなお客様のもとへお届けしています。

2021年度は国内で約700台のピアノが再生、リユースされました。そのうち、31.3%が輸出され、世界の各地で使われています。

下取りしたピアノの再生・リユース (2021年度)



メーカーによるピアノの修理・再生

メーカーだからできる仕事があります。ピアノづくりに精通した経験豊かな専任技術者により、古いピアノでも全面オーバーホールすることが可能です。弦・ハンマー・アクションの交換から全面塗装までお客様のニーズに応じたピアノ再生を行っています。



再生は、ピアノの製造部門で長年の経験をもち、塗装技術、木工技術、調律技術など、その道の専門家がそれぞれ担当しています。その仕上がりは、多くのお客様から好評をいただいています。また、カワイ製ピアノについては純正パーツによる修理・再生も可能で、大きな魅力となっています。

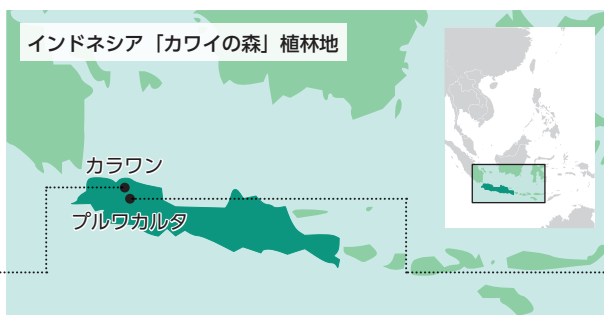
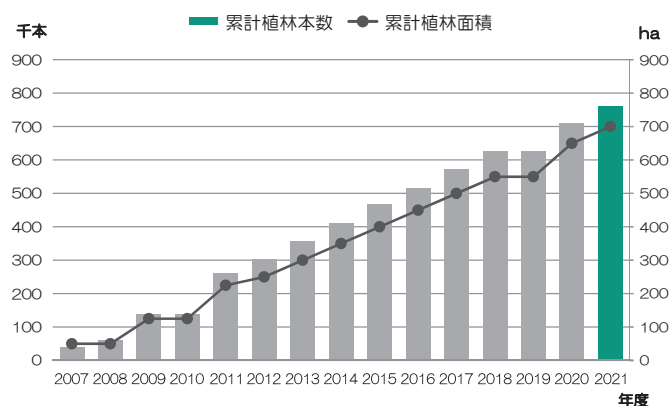
インドネシアの「カワイの森」植林活動

ピアノには多くの木材が使用されています。それらの木材を扱うカワイは創立 80 周年記念事業として 2007 年にカワイグループ社員の有志により、カワイの森育成会（河合弘隆会長）を設立しました。

カワイグループの地球環境憲章の基本理念に則り、CO₂ の吸収源の確保、樹木が伐採された土地に森林を再生することや持続可能な木材資源の確保を目指して、PT. カワイインドネシアとインドネシア森林公社との連携のもと、海外生産拠点のあるインドネシアにおいてファルカタ、チーク、マホガニー等の植林活動を行っています。2017 年度からは水産養殖等の目的で急速に破壊されたマングローブ林の再生活動にも取り組みをはじめました。

2021 年度はカラワン県およびプルワカルタ県にて植林を行い、累計植林面積は約 700ha、累計植林本数は約 75 万本になりました。

ほとんどの樹木が順調に成長しており、このまま育成が進むとすると「カワイの森」により年間 11,000t 程度の CO₂ の吸収効果が生まれ、カワイグループ全体の CO₂ 排出量の 46% 程度を吸収していくものと試算しています。



被災地の海岸防災林再生支援

2015 年から 2019 年にかけて『みどりのきずな』再生プロジェクトに参加し、東北地方での植樹を実施してきました。

2021 年 6 月および 9 月には、宮城県森林インストラクター協会や仙台市内の小学生の協力を得て、荒浜北官林（2018、2019 年の植樹地）の除草を実施しました。

今後も木々の成長具合を確認し海岸防災林の再生・保育に努めていきます。



「森の中の緑の工房」竜洋工場

竜洋工場は、2020 年に竣工 40 周年を迎えました。

1997 年にはピアノ業界で初となる ISO14001 を取得し、工場の環境方針には建設当初から推進している工場緑化を掲げています。現在では工場敷地の約 50% が緑地化されています。工場の従業員によって植樹された約 3 万本の木々は長い歳月を経て成長し、「森の中の緑の工房」の名に相応しい緑豊かな工場となりました。



文化貢献

次世代を担うピアニストを支援・育成しています



● 第 18 回ショパン国際ピアノコンクール

2021 年 10 月、ショパンの故郷ポーランド・ワルシャワにて第 18 回ショパン国際ピアノコンクールが開催されました。「若手ピアニストの登竜門」とも称される世界最高峰のコンクールです。

カワイのフルコンサートピアノ SK-EX を使用したピアニスト、アレクサンダー・ガジェヴさんが第 2 位、ジェイ・ジェイ・ジュン・リー・ブイさんが第 6 位に入賞しました。第 2 位入賞のアレクサンダー・ガジェヴさんは、これまでのショパンコンクールの中でカワイを使用した入賞者の最高位タイとなりました。

また、残念ながら入賞はできませんでしたが、ファイナリストのイ・ヒョクさんも 1 次予選からファイナルまでカワイを使用し、SK-EX の素晴らしい音色をショパンコンクールという大舞台で大きく響かせてくださいました。



KAWAI 調律チーム

出場者のサポート

SK-EX がコンクールの舞台で活躍した影には、サポートチームの支えがありました。

調律技術者 (MPA) 6 名、アーティストサービス 2 名のチームで臨み、コンクール本番用ピアノの調律の他に練習場所の手配や、食事など細やかなケアをしたこともあり、カワイの練習場所は使用ピアノに関係なく連日たくさんのお出場者が集まっていました。

※ MPA = Master Piano Artisan 技術力の高い調律師のみが持つ社内資格



©D.Golik / The Fryderyk Chopin Institute

第 2 位入賞のアレクサンダー・ガジェヴさん



● 第 4 回 Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール

Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールは 2017 年の当社創立 90 周年を記念し、次世代を担うピアニストの発掘・育成、国際交流の推進、ならびに世界の音楽文化の振興を目的として創設されました。

2018 年には第 3 回を開催。2021 年に開催を予定していた第 4 回のコンクールは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により 2022 年に延期となりました。

2021 年 11 月より受付を開始した参加申込には、世界 21 の国と地域から 237 名のエントリーがありました。2022 年 2 月には予備審査として、国内 2 会場（東京・大阪）で審査会を実施し、海外についてはビデオ審査による選抜を実施しました。



第 3 回優勝のイリヤ・シュムクレルさん



第 3 回コンクール ファイナルの様子

しかしながら、2022 年 3 月、国際情勢の変化もあり、海外からの出場者の方々をはじめ、審査委員並びに伴奏者の方を万全な体制で迎え入れることが困難であると判断し、第 4 回のコンクール開催を再度延期せざるを得ないという結論に至りました。引き続き 2023 年の開催に向け誠心誠意努めてまいります。

Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールの詳細は、下記ウェブサイトでご覧いただけます。

<https://skipc.jp/>

文化貢献

音楽文化の振興に貢献しています



カワイ音楽振興会

カワイ音楽振興会は日本の音楽文化の向上をめざして、1963年に設立されました。「カワイコンサート」の開催をはじめ、海外著名演奏家や音楽教育家の招聘事業、国内一流音楽家のリサイタル・公開講座など多彩な催しを企画実施しています。

また、音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指し、さまざまな音楽活動や文化活動の支援を行なっています。これからも、“Music for All”の理念のもと、様々な活動を通じてすべての人々に良質な音楽を提供していきます。

<http://kawai-kmf.com/>

KAWAI PREMIUM CONCERT

2021年8月28日(土) アクトシティ浜松中ホールにて「KAWAI PREMIUM CONCERT 第18回ショパン国際ピアノコンクール 壮行演奏会」を開催しました。

第18回ショパン国際ピアノコンクール本大会に出場する87名のピアニストのうち、6名を招いて演奏会を行いました。

入場の検温・消毒などの感染防止対策を実施し、安全に音楽を楽しんでもらえるよう配慮しながらの開催となりました。また、県境をまたぐ移動の自粛が要請されている中、来場が難しい方のために、オンライン同時配信も実施いたしました。



沢田蒼梧さん



岩井亜咲さん



伊藤順一さん



竹田理琴乃さん



京増修史さん



進藤実優さん

各種音楽団体への支援

日本ショパン協会への支援

1960年8月、フレデリック・ショパン生誕150年を記念してポーランドのショパン協会との交流のもとに設立。河合滋社長(当時)が名誉会長となり事務局を河合楽器製作所内に設置、ショパン国際ピアノコンクール等への支援を行っています。

<http://chopin-society-japan.com/>

日本シマノフスキ協会への支援

1981年、カロール・シマノフスキ生誕100年を記念して設立。ポーランド人の民族性、土俗性が表現された作品を日本国内に広める活動を行っています。オーディション形式のコンサートや公開講座等も開催しています。

<http://kawai-kmf.com/szymanowski/>

クロイツァー記念会への支援

ドイツと日本で活躍したレオニード・クロイツァー教授の門下生および関係者により1962年3月に設立。日本の音楽界に対する功績を記念して「クロイツァー賞」を制定、受賞者による演奏会を1976年より毎年開催しています。

<http://kawai-kmf.com/kreutzer/>

中国での音楽文化の普及

中国においては、宋慶齡基金会と連携し音楽教室の展開を進めることで、音楽文化の普及を積極的に進めています。また、調律師育成の一環として、勁松（ジンソン）職業高校に支援を行い調律技術の継承を図っています。



中国北京の音楽教室



調律技術指導を受ける勁松（ジンソン）職業高校の生徒（オンライン授業）

新興国での音楽文化の普及

現地教育者の人財育成を推進し、各国での音楽文化ならびに音楽教育の普及に努めています。



教育・育成

教育活動を通じて個性を育み、より豊かな人格形成を目指します



カワイ音楽教室

カワイ音楽教室では、子どもたちの興味の芽を大切に、素直に表現する感性を育てるため、音楽教室を中心にさまざまな教育活動を展開しています。

教育の理念

カワイ音楽教室の理念は音楽「を」学ぶのではなく、音楽「で」学ぶこと。ただ単に技術を習得して「うまく」なることだけを目的とせず、各コースの表現活動を通して個性を育み、より豊かな人格形成を目指します。

personality & harmony



KAWAI MUSIC SCHOOL

カワイは音楽を通じて、一人ひとりかけがえない個性(personality)を導きだします。そして、おたがいの個性を尊重しあう中から、他人(ひと)と心を通わせ心を共振(harmony)させる喜びを創りだします。

カワイ音楽教室

カワイ音楽教室は、音楽文化の普及を目指して1956年(昭和31年)にスタートしました。全国各地に4,000余の教室があり、カワイの音楽教育実績から生み出された多彩なコースで、多くの生徒さんが音楽と親しみ、自らの可能性を拓いています。



カワイおとなの音楽教室

高まる中高年の人々の生涯学習や余暇活動へのニーズに対応し、ピアノ、ボーカル、弦楽器、管楽器など、様々なコースを運営しています。自分の好きな曲をその人のレベルに合った内容で受講できることから、多くの受講者を集めています。



カワイ英語教室

カワイが開発したIMA (Imagination, Music, Action) 方式のカリキュラムに沿って、豊かな人間性をもつ講師とともに歌やゲームを楽しみながら生きた英語を身につけます。また、言葉の背景にある文化についても理解を促し、真の国際人を育てます。



カワイ絵画造形教室

画一的指導ではなく個人差やプロセスを重視しながら、子どもたちの独創性と創造力を豊かに育んでいます。紙や粘土、カワイ独自のピアノの木片など豊富な素材を使い、自由に創作活動に取り組むことができます。

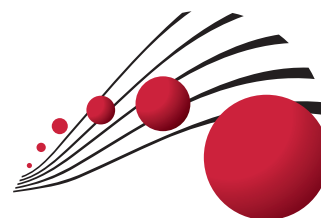


カワイ音楽コンクール

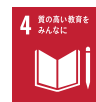
カワイ音楽コンクールは、「技術の優劣よりも自発的な音楽表現を積極的に評価する」という理念のもと1968年にスタートしました。「カワイピアノコンクール」「カワイこどもピアノコンクール」「カワイうたのコンクール」の3種類からなる本コンクールは、半世紀以上にわたり多くのピアニストを育ててまいりました。

2021年9月には54回目となるピアノコンクール全国大会(連弾部門・ソロ部門)を開催いたしました。新型コロナウイルスの影響により会場での開催こそ叶いませんでしたが、Web審査には、未来を担うピアニストたちが日頃練習を積み重ねてきた音楽を存分に表現した演奏動画が寄せられました。

ソロ部門の大賞受賞者には、国内外著名ピアニストや音楽大学教授等による特別レッスンなど様々な育成支援の機会を提供し、演奏家としてのより一層の成長をサポートしてまいります。



KAWAI
MUSIC
COMPETITION



○ 体育・スポーツ教室

子どもを対象とした体育コースやスポーツコースでは運動能力の発達や技術の向上はもちろん、集団でのレッスンの中で協力して目標に向かったり、互いに励ましあったりすることで社会性を養うことなど、「からだの面」、「こころの面」、「知的な面」の3つの要素を重要視した指導を行い、人間的豊かさにあふれる人の育成をサポートしています。



カワイ体育教室で重要視する3つの要素

体育コース

2オクラス、幼児クラスなど、年少から年長のお子様を対象に各年次の発達、発達に即した運動あそびを経験することで楽しみながら運動技能を身につけるコースです。運動に関する創造性、積極性、できる喜び等を育てます。



スポーツコース

器械体操・新体操・サッカーなどスポーツの基礎を身につけるコースです。技術だけではなく、ルールを学び、人とのコミュニケーションを学べるコースで一人ひとりの能力や、からだの発達と発育を考慮した指導を行っています。



カワイ ヘルスプロモーション サポートシステム

カワイは、体育教室をはじめとした健康づくりのサポートを全国で展開してから50年以上になります。このキャリアとノウハウを広く社会に公開・提供するのの一つの役目と考えています。

未就園児から高齢者まで、楽しみながら健康の維持・促進を図り、しかも測定データや最新機器を駆使し科学的にサポートする「カワイ ヘルスプロモーション サポートシステム」を構築し、さまざまなステージでの健康づくりをサポートしています。



○ スポーツコミュニティ

体操フェスティバル in 蒲郡市民体育センター

2021年12月5日、愛知県の蒲郡市民体育センターにて体操フェスティバルが開催されました。

カワイ体育教室のチーフアドバイザー水鳥寿思さん、新体操クラスのチーフアドバイザー川本ゆかりさんを講師として招き、跳び箱や鉄棒、トランポリンなどの器械体操を体験していただきました。

カワイ体育教室では、トップアスリートと触れ合う機会として「スポーツコミュニティ」を展開し、未来を担う子どもたちの健全な育成を図ってまいります。



カワイ体育教室 スタッフ紹介



チーフアドバイザー
水鳥 寿思 さん

2004年アテネオリンピック体操男子団体総合金メダリスト。現役を引退後カワイ体育教室のチーフアドバイザーに就任しました。

各地区での講話や実技披露など、運動の楽しさを広めるとともに、幼児・児童の体力強化や大人の健康増進に向けた運動プログラムの監修にもあたっています。



新体操クラス チーフアドバイザー
川本 ゆかり さん

1992年バルセロナオリンピック出場。カワイ体育教室の新体操クラスのチーフアドバイザーとして、カリキュラム開発や指導者の育成を担当しています。

スポーツコミュニティも担当しています。

人財育成

人財を大切にしています



人財育成基本方針

カワイグループでは、「従業員一人ひとりが能力を発揮することがカワイグループとしての成長につながる」という考えのもと、人財こそが最大の資産と捉え、人財育成を時代の変化に対応できる企業となるための重要な戦略課題と位置づけています。従業員一人ひとりが能力を発揮できる仕組みや環境を整備し、企業としての持続的な成長を図ってまいります。

人財育成体系

基本方針のもと、従業員が自らのキャリアを創り自主的に成長していく姿勢を醸成するべく人財育成を行っています。

	階層別研修	職種別研修（各部門主導）	自己啓発支援	共通
経営層	新任取締役研修			
管理層	新任執行役研修 次世代経営幹部候補者選抜育成			ダイバーシティ研修 女性のキャリアアップ研修
監督層	新任管理者研修 管理者候補研修 新任監督者研修	・営業部門（マーケティング等） ・生産部門（品質・多能工化等） ・音教／体育 ・スタッフ部門 ・技術／開発	通信教育 eラーニング	コンプライアンス研修
一般層	若手育成強化 6年次研修 5年次研修 4年次研修 3年次研修 2年次研修 フォローアップ研修 新入社員研修 キャリア形成支援			マイライフプラン研修

階層別研修

各階層において求められる基礎知識の習得と役割認識を深めるため、一般層から経営層に至るまで階層別研修を行っています。特に若手従業員の育成に力を入れており、入社～6年次まで年次研修を行うと共に、キャリア形成支援としてジョブローテーションを実施して職域拡大を図り、企業力の強化に繋がっています。

職種別研修

各部門主導で職種別研修を実施し、職種に応じて従業員の専門性を深め、スキルアップするための教育を定期的に行っています。

その他

自己啓発支援のため、通信教育に加え、eラーニングを導入しています。また、各階層に共通するものとして、多様性確保のためのダイバーシティ研修や女性のキャリアアップ研修等を実施し、企業全体として時代の変化に対応できる力を養うための教育を行っています。

ダイバーシティ基本方針

カワイグループでは、女性、外国人、様々な職歴を持つ中途採用者など、人財の多様性を確保することが企業価値の向上につながると考えております。多様な人財の採用・中核人財への登用を積極的に行い、それぞれの特性や能力が最大限発揮されるような職場環境の整備を行うことで、新たな価値を生み出す組織風土を醸成します。

ダイバーシティ推進の年度別実績と目標

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2025 年 3 月末 (目標)
女性管理職比率 (%)	1.6	2.4	2.1	3.3	12.5
女性監督職比率 (%)	9.6	10.9	11.7	12.9	20.0
外国人従業員数 (名)	6	7	8	9	15
入社	0	1	1	1	
在籍	6	6	7	8	
中途採用者数 (名)	30	39	42	46	50
入社	1	9	3	4	
在籍	29	30	39	42	

※上記目標は(株)河合楽器製作所単体のものであり、グループ会社を除く

女性活躍推進

カワイグループでは、2019 年より女性活躍推進プロジェクト『Love it!』を立ち上げ、誰もが働きやすい職場づくりを目指してワークライフバランスを実現するために活動をしています。

育児・介護と仕事の両立支援研修やイクボス研修の実施、男性の育児休業取得促進やワークライフバランスガイドブック刊行、ライフサポート休暇の新設。また、部門を横断したサポーターチームによる女性活躍推進に関する提言活動や女性管理職による座談会実施、女性活躍に関するニュースレターの定期的発行など様々な取り組みを行っています。

このような活動が認められ、2021 年 1 月には「えるぼし認定(二つ星)」を取得いたしました。

※えるぼし認定：女性活躍推進法に基づき女性従業員の活躍推進に関しての取組状況に応じた厚生労働大臣からの認定制度のこと



グローバル人財の育成と中途採用の強化

国内拠点におけるグローバル人財の採用、育成、登用を強化しております。日本を除く世界各地に 13 か所の海外拠点があり、現地採用スタッフも活躍しています。今後は、海外駐在者候補となる人財を育成するため、若手社員を中心に海外拠点への短期研修を実施し、グループ全体で基盤整備を行ってまいります。

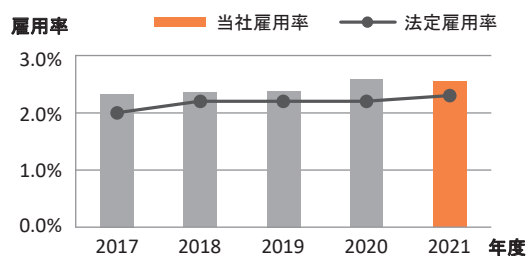
また、近年より中途採用を積極的に実施しており、2018 年度から 2021 年度までの 4 年間で中途採用者の合計が 16 名増加しました。監督層などの中核人財としての採用も行っており、専門的なスキルを持った即戦力のある人財が活躍しています。

障がい者雇用

カワイグループは、近隣の特別支援学校のご協力のもと、実習による業務の適性を考慮した障がい者雇用を継続しています。2015 年度から 7 年連続で法定雇用率をクリアしており、2021 年度の雇用率も 2.55%と、法定雇用率の 2.30%を上回っています。

今後も企業として地域とのつながりを重視しながら、社会的責任を果たしてまいります。

障がい者雇用率



ワークライフバランス

仕事と生活の両立を支援しています



○ ワークライフバランスの推進

カワイグループでは、経営の理念の中で掲げている「社員を大切に、明るい企業をめざします」に基づき、多様な働き方をサポートする各種制度を整備し、社員が働きやすい環境づくりを進めています。

また、女性活躍推進プロジェクト「Love it!」による、仕事と生活の両立を支援する制度をライフイベント別に分かりやすく説明したワークライフバランスガイドブックの発行や、ライフサポート休暇の新設など、制度の拡充や周知、利用促進にも努めています。



仕事と生活の両立支援制度

	制度	内容
特別休暇	メモリアル休暇	1年に1日、誕生日に取得できる
	ライフサポート休暇	従業員とその家族のライフイベントのために年間2日取得できる
	リフレッシュ休暇	勤続5年ごとに連続5日間取得できる
	裁判員休暇	裁判員または裁判員候補者として裁判所に出頭するために取得できる
介護サポート	介護休業	家族の介護のため最長1年間取得できる
	介護短時間勤務	家族の介護のため最長3年間、1日の労働時間を短縮して勤務できる
	時間外勤務の免除制度 / 制限措置	時間外勤務の免除 / 月24時間、年間150時間を超える時間外勤務の免除措置を受けることができる
	深夜業の制限措置	午後10時から午前5時までの業務の免除措置を受けることができる
	介護休暇	家族の介護のため1年に5日間取得できる
妊娠 / 出産 / 育児サポート	母性健康管理のための休暇等	通勤の緩和、時差出勤・勤務時間の短縮、就業時間内の通院、休憩時間の延長、作業内容の軽減、勤務時間の短縮などの制度を利用できる
	産前産後休暇	産前42日前から、産後56日まで取得できる
	配偶者出産休暇	配偶者が出産する場合に取得できる
	育児休業	子どもが満2歳になるまで、育児のために利用できる
	育児短時間勤務	育児のために労働時間を短縮して勤務することができる
	時間外勤務の免除制度 / 制限措置	時間外勤務の免除 / 月24時間、年間150時間を超える時間外勤務の免除措置を受けることができる
	深夜業の制限措置	午後10時から午前5時までの業務の免除措置を受けることができる
	子の看護休暇	子どもの負傷や疾病の世話、予防注射や健康診断のために取得できる
	育児時間	休憩時間の他に1日に2回、育児のための時間をとることができる

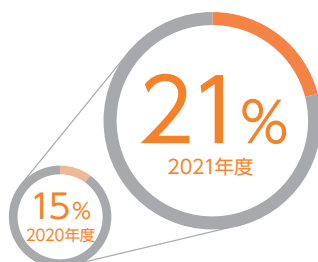
○ 育児休業取得推進

働きながらの子育てをサポートする制度として、1992年から育児休業制度を導入しています。2021年度の女性の取得率は2018年から100%を継続し、男性の取得率についても昨年度の15%から向上しています。また配偶者出産休暇の取得率についても昨年度から向上し53%となっています。これからも、取得率向上と働きやすい職場環境の整備に努めてまいります。

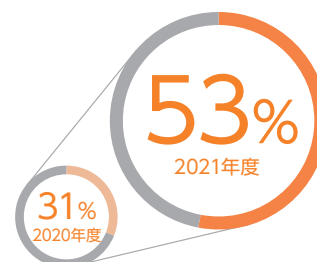
女性の育児休業取得率



男性の育児休業取得率



配偶者出産休暇取得率



健康経営宣言

カワイグループでは、従業員の健康管理を経営的な視点から考え、戦略的に「健康経営」を推進していくため、「健康経営宣言」を制定しました。

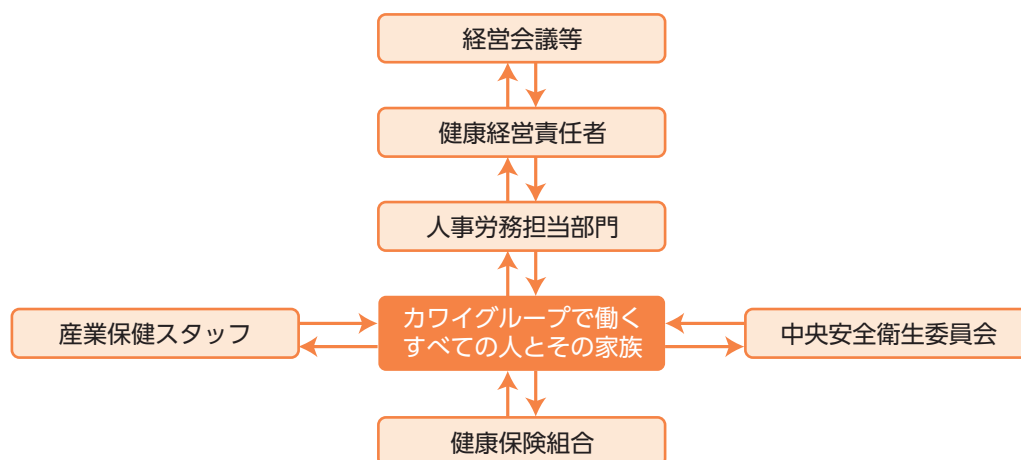
カワイグループは、カワイで働くすべての人とその家族の心身の健康こそが、経営の理念で定める「創造性豊かな好感度企業を目指す」ための礎であり、当グループおよび社会にとっての大切な財産であると考えます。

そのために、従業員一人ひとりが「音楽文化の担い手」として、持てる能力を最大限に発揮するとともに、働きがいを創造し、創業以来継続してきた音楽文化への貢献を継続・推進できるよう、会社、健康保険組合が一体となり、従業員およびその家族の健康維持・増進のための活動を積極的に支援してまいります。

そして、従業員が能力を最大限に発揮し、いきいきと活躍することで、事業活動を通じて、幅広く人々の生活文化・音楽文化に貢献していくことを宣言します。

健康経営推進体制

健康経営宣言のもと、人事労務部門の担当役員が「健康経営責任者」となり、健康経営を牽引するとともに、人事労務担当部門が中心となり、各事業所長・労働組合の代表者をメンバーとした中央安全衛生委員会をはじめ、産業保健スタッフ、健康保険組合とも連携し、従業員およびその家族の健康づくりを推進してまいります。また、従業員の健康管理の実施状況について、定期的に経営会議等に報告し、全社一丸となり従業員の健康づくりを促進してまいります。



外部からの評価

健康経営優良法人認定

当社は経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人 2022（大規模法人部門）」に2020年から連続して認定されています。

健康経営優良法人制度とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。



健康づくり活動に関する知事褒賞

当社は、静岡県より令和3年度「健康づくり活動に関する知事褒賞」を受賞いたしました。

「健康づくり活動に関する知事褒賞」制度は、健康増進に関する活動に積極的に取り組み、今後もその活動が期待できる事業所等を表彰し、職場における健康づくりを推進することを目的として創設された褒賞制度です。



社会貢献

地域に根ざした社会貢献活動に取り組んでいます



○ 地域清掃活動

カワイグループは、地域社会の一員として、地域との交流を深めると共に、地域に根ざした社会貢献活動に取り組んでいます。

それぞれの事業所においては、敷地内だけでなく近隣の清掃活動にも取り組み、事業所周辺の主要道路や植え込みのゴミ拾い、伸びた草の刈り取り、側溝に積もった泥や落ち葉の清掃などを行い、地域の環境美化に努めています。



○ サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2021

2021年12月11日、12日の2日間、アクトシティ浜松展示イベントホールで開催された「サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2021」に出展いたしました。

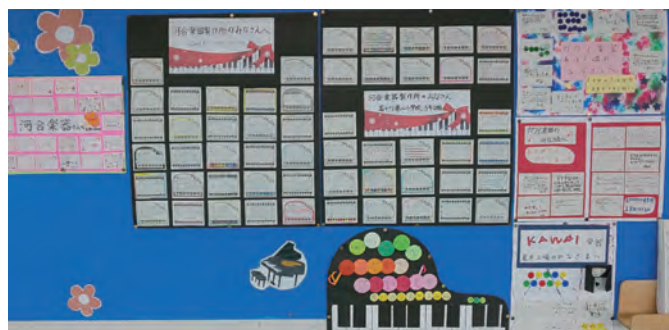
当社からは「おおきなピアノとちいさなピアノ」をテーマに、本物のピアノとおもちゃのピアノをセットで展示。展示のアップライトピアノを使用したピアノ解体ショーでは、普段は隠れている内部の部品を本体から取り外し、構造や動き、素材などを実際に見ていただきました。



○ 工場見学の受け入れ

新型コロナウイルスの影響で工場見学の受け入れを一時見合わせていましたが、現在は静岡県内の小中学校の社会科見学のみを対象として受け入れを再開しています。見学ではグランドピアノの組立工程をご覧くださいことができます。

見学後の小学生からは「こんなにたくさんの人たちでつくっていることを知り、ピアノを大切にしようと思った」「たくさんの部品があってびっくりした」「自分でも一度ピアノをつくってみたい」など嬉しい感想をいただいています。



○ 竜洋工場の「森」のどんぐり拾い

竜洋工場は41年前の工場建設時、当時の従業員が「森の中の緑の工房」を目指し、もともと砂地であった土地に、工場を取り囲むように植樹いたしました。その後も植樹を続け、現在では3万本もの木々が大きく成長しています。

毎年秋には磐田市内のこども園の園児たちが工場を訪れてどんぐり拾いを行うなど、竜洋工場の「森」ならではの地域貢献も行っています。



工場のご見学に関するお問い合わせ

竜洋工場（ピアノ事業部 業務室）静岡県磐田市飛平松 252
工場見学はホームページからご予約いただけます。

TEL: 0538-66-5111 FAX: 0538-66-5919
<https://www.kawai.jp/ryuyofactory/>

コーポレート・ガバナンス

健全な企業経営体制を構築しています



● コーポレート・ガバナンス基本方針（2018年12月27日改定）

目的およびコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

株式会社河合楽器製作所グループは、「経営の理念」に基づき、持続的な企業価値の向上を実現するために、コーポレート・ガバナンス基本方針を制定し、コーポレート・ガバナンスの充実に継続的に取り組みます。

この基本方針では、コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方やステークホルダーとの関係、コーポレート・ガバナンス体制など、5つの章に定めています。

コーポレート・ガバナンス基本方針の詳細は以下のウェブサイトでご覧いただけます。

<https://www.kawai.co.jp/company/governance/>

● 内部統制システムに関する基本的な考え方

カワイでは「経営の理念」および「行動指針」を策定し、業務運営の指針としており、併せて中期経営計画に掲げた目標の達成に向けて、各組織が予め定められた役割に従い、法令や定款に則って効率的に戦略遂行できる体制構築を目指しています。また、法律問題につきましては、分野ごとに恒常的に複数の法律事務所と顧問契約を締結した上で適法性の確保に努めています。

内部統制システムについては、企業価値向上のためのコーポレート・ガバナンスの一環としてその重要性を認識し、2006年5月12日に取締役会で決議しました「内部統制システムの構築に関する基本方針」に則り、その整備を推進しています。

● 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

反社会的勢力を社会から排除していくことは、治安対策上重要なことであり、企業にとっても社会的責任の観点から必要であり、また、反社会的勢力が従業員を含めた企業自身に多大な被害を生じさせるものであることから、企業防衛の観点からも必要なものがあります。このような観点から、当社は反社会的勢力による被害を防止するため、コンプライアンス体制及び内部統制システムの一環としての体制整備に努めています。

当社のコーポレート・ガバナンスについて

当社は経営の理念に基づき、持続的な成長と企業価値の向上を実現するために、コーポレートガバナンス基本方針を制定しています。そして、その方針に沿ってガバナンス体制を構築し、意思決定の迅速化、経営の健全性と透明性の向上を図ってまいりました。

そうした中、2021年6月にコーポレートガバナンス・コードが改定され、企業のガバナンスへの取り組みが更に求められるようになり、当社においてもプライム市場への移行に伴い、ガバナンスの強化を図っていかなければなりません。今後は、種々の課題に対し取り組み、解決することで、より高いガバナンスの水準を備えていきたいと考えております。

代表取締役会長兼社長

河合弘隆

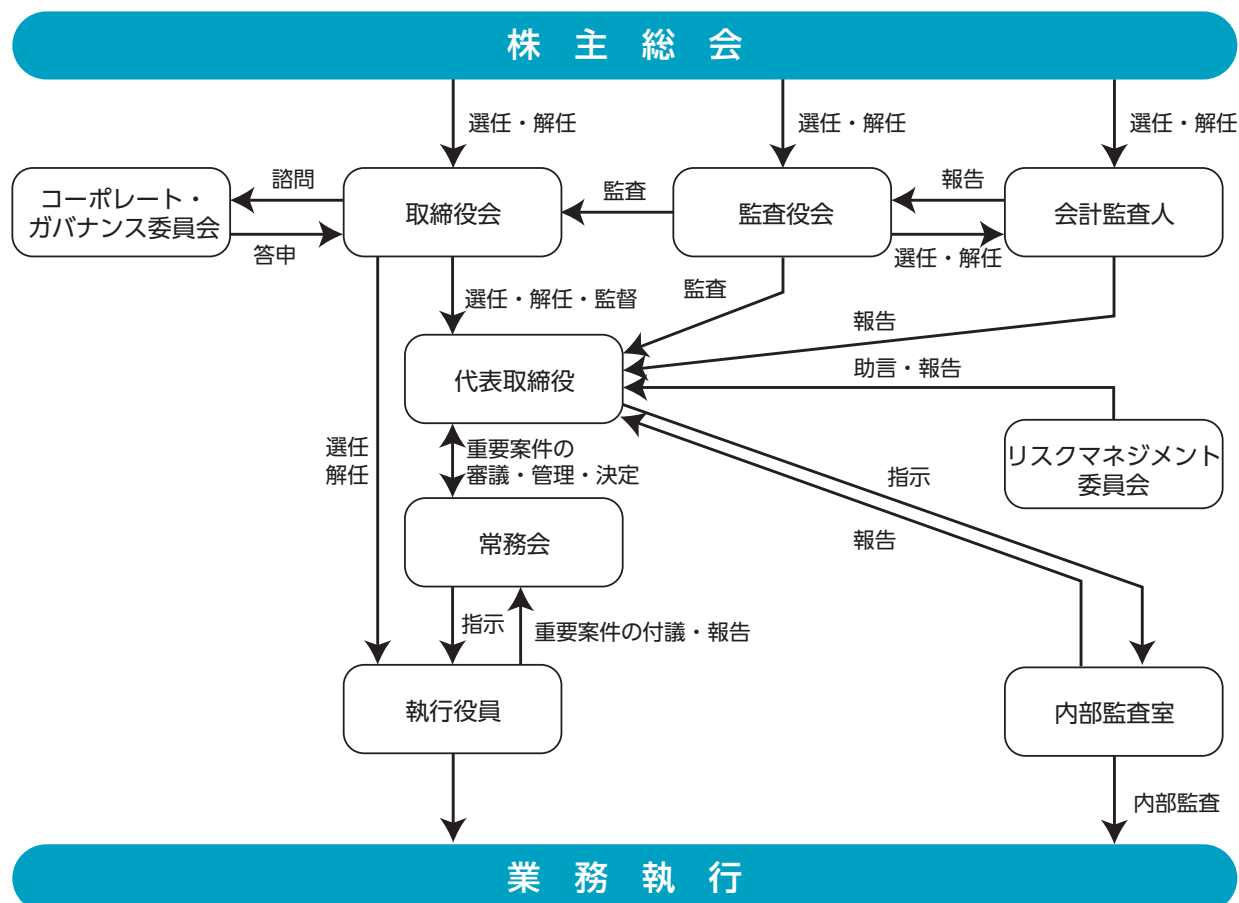
コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンス体制／内部統制システム

16 平和と公正を
すべての人に

● コーポレート・ガバナンス体制の状況

当社は、コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方に基づき、内部統制の充実、コンプライアンス体制の整備、経営の透明性の確保に努めると共に、楽器製造、楽器マーケットならびにその周辺事業に関する専門的な経営知識と豊富な経験を有する人材を取締役として選任しており、変化の激しい経営環境に迅速・的確に対応しスピーディーな意思決定を目指しています。



取締役会

社外取締役2名を含む取締役で構成。社外取締役には客観的な立場から取締役会における意思決定の妥当性及び取締役会の職務執行について大局的な視点で助言、監督をいただき、経営の透明性を高めています。また、2002年4月より導入した執行役員制度を2005年6月に改編し、取締役にも執行役員を兼務させる体制とし、全社的課題への対応力の強化を図るとともに、業務執行における責任の明確化および指揮命令系統の充実を図りました。

監査役会

社外監査役2名を含む監査役で構成。監査役会は、監査方針と分担を定め、各監査役はこれに従い、定期的に各業務執行部門、グループ会社の監査を実施するとともに、取締役会をはじめ重要な会議に出席し、的確な状況の把握と意見具申を行い取締役の職務執行状況の監査機能の充実を図っています。

コーポレート・ガバナンス委員会

取締役会の諮問機関として「コーポレート・ガバナンス委員会」を設置し、取締役候補者の選定に関する事項や、取締役の報酬に関する事項、その他コーポレート・ガバナンスの向上に関し審議し取締役会に答申、報告を行っています。

経営会議体

全社的課題を審議するステアリング・コミッティ、執行役員の業務執行状況や各部門の生産・販売状況を確認し、重点戦略の評価および検討を行う事業別や地域別の各戦略会議等を設置して戦略モニタリング・コントロール機能を確保しています。

内部監査

「内部監査室」を設置し、カワイグループの業務活動全般に関して、業務執行が適法、適正かつ合理的に行われているかどうかを監査するとともに、会社資源の活用状況、法令・社内規程の遵守状況についての監査を行っています。

● リスク管理体制

カワイのリスク管理体制は、業務執行に伴うリスクを未然に防止することを第一とし、リスクが顕在化した場合には、社会的、経営的な影響を最小限にとどめるため、職制により組織的に対応するものから必要に応じグループ全体を対象とした委員会等を設置するなど、機動的な対応に努めています。

リスクマネジメント委員会は、カワイグループ全体のリスクへの対応のために、規程類の整備、運用状況の確認、要員の訓練、研修等を企画実行するとともに全社リスク管理状況を定期的に取り締役に報告しています。

傘下に下記分野別の各委員会を設置するとともに、不測の事態が発生した場合には、「緊急対策本部」をただちに設置し、迅速な対応と損害の拡大の防止にあたるものとしています。

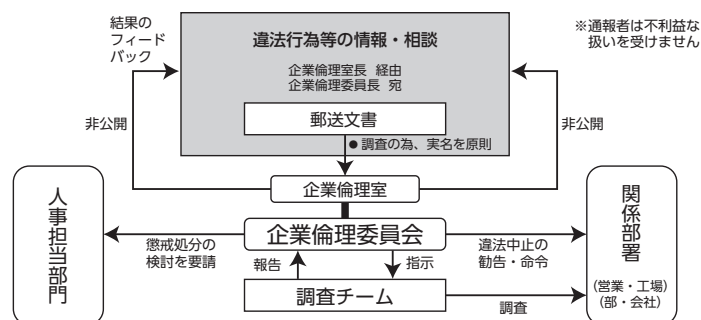
リスクマネジメント委員会	
地球環境委員会 カワイグループは1994年に地球環境委員会を設置し、地球環境の保全に積極的に取り組んでいます。地球環境委員会では「地球環境憲章」、「カワイ環境方針」、「グリーン調達ガイドライン」、「木材調達ガイドライン」等を制定。また環境に関する法令の遵守はもとより環境保全の目的・目標を定め環境汚染によるリスクの軽減に努めています。	製品安全対策委員会 万が一、市場に出た当社の製品に安全上の不具合があり、それが原因でお客様の生命身体に危害が及んだり、その可能性があると思われる場合には、お客様への告知、行政機関への報告、製品の回収といった対策を迅速に実行し、お客様への被害を最小限に止める諸活動を行っています。
海外安全対策委員会 海外子会社、海外駐在員並びに海外出張者のリスク管理を行っています。	中央防災対策委員会 カワイグループにおける火災、風水害、その他の災害の予防対策確立及び災害発生時の被害を最小限に止めるための諸活動を行っています。
情報セキュリティ委員会 情報資産の機密性、完全性、可用性の確保、維持を全社的な立場で統括管理しています。	中央安全衛生委員会 カワイグループの従業員の安全衛生意識の高揚を図り、災害及び疾病を予防するための諸活動を行っています。
企業倫理委員会	

コンプライアンスに関する基本方針の審議を行い決定し、その方針の進捗状況を確認したり、コンプライアンスに関する規程・マニュアルなどの制定を行っています。またその他に法令、企業倫理に関わる違反案件があったときは、その対応策の協議を行い経営層への具申を行います。

● コンプライアンスの推進

コンプライアンスとは法令等遵守と訳され、社会の法令や会社内の規程などを守っていくことだけでなく、社会規範を含んだ倫理規範の実践により社会の信頼を得ていく必要があると考えられています。

このようなことからカワイグループでは全従業員が取り組む、コンプライアンス経営を推進しております。具体的には法令遵守に加え、社会的な規範を包含した「カワイ倫理規範」、「倫理行動規準」を制定するとともに、外部有識者（弁護士）を加えた企業倫理委員会を設置しています。



コンプライアンス教育と啓蒙

企業倫理に関する統括部門である企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインを運営しています。また従業員への教育・啓蒙として「企業倫理月間（10月）における啓発活動」「企業倫理ニュースの毎月発行」「コンプライアンスリスク洗い出しチェックリストによるセルフチェック」「コンプライアンス研修」等を実施することでコンプライアンス意識の向上に努めています。

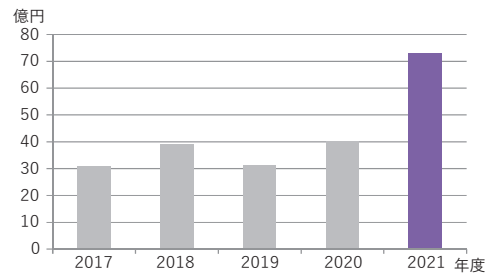
会社概要と主な事業

会社概要

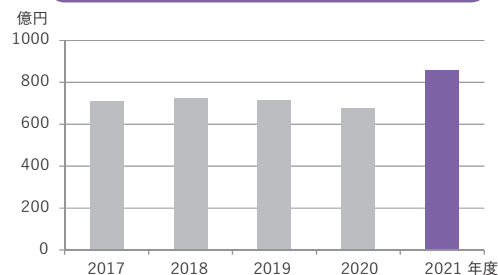
社名 株式会社河合楽器製作所
 本社 静岡県浜松市中区寺島町 200 番地
 創立 1927 年 (昭和 2 年) 8 月 9 日
 設立 1951 年 (昭和 26 年) 5 月 15 日
 代表者 代表取締役会長兼社長 河合弘隆
 資本金 7,122 百万円 (2022 年 3 月末現在)

		2019	2020	2021
売上高 (百万円)	単独	49,481	48,487	59,359
	連結	71,302	67,520	85,703
従業員数 (名)	単独	1,282	1,302	1,280
	連結	2,839	2,868	2,696

経常利益 (連結)

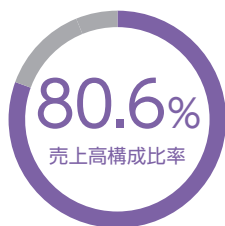


売上高 (連結)



● 主な事業

楽器教育事業



ピアノ、電子楽器、管・弦・打楽器、楽器付属品、楽器玩具の販売及び楽器調律・修理の役務提供業務
 音楽教室・体育教室の運営、教材販売、楽譜・音楽教育用ソフトの製造及び販売

- 国内での販売
(株)河合楽器製作所、(株)全音楽譜出版社
- 海外での販売
カワイアメリカコーポレーション
カワイヨーロッパ GmbH
カワイカナダミュージック Ltd.
カワイオーストラリア PTY.Ltd.
PT. カワイミュージックインドネシア
河合楽器 (中国) 有限公司
河合貿易 (上海) 有限公司
カワイ UK Ltd.
カワイフランス SAS
カワイピアノ・ロシア
- 楽器の調律・修理
(株)河合楽器製作所
- 国内での楽器製造
(株)河合楽器製作所、(株)全音楽譜出版社
- 海外での楽器製造
PT. カワイインドネシア
河合楽器 (寧波) 有限公司
上海カワイ電子有限公司
- 国内での音楽教室・体育教室の運営
(株)河合楽器製作所
- 海外での音楽教室の運営
PT. カワイミュージックスクールインドネシア
- その他
(株)カワイ友の会

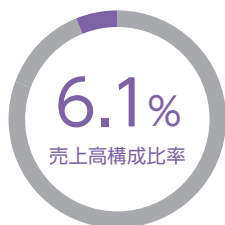
素材加工事業



電子電気部品用金属材料加工、自動車部品用材料加工、鋁鉄鋳物の製造及び販売
 防音室・音響部材の製造及び販売

- 金属異形圧延加工品の製造
カワイ精密金属(株)
- 自動車部品用材料の製造
(株)カワイハイパーウッド
- 鋁鉄鋳物の製造・販売
(株)カワイキャスティング
- 防音室・音響部材の製造・販売
(株)カワイ音響システム

その他の事業



- 情報関連事業、金融関連事業、保険代理店事業 他
(株)カワイビジネスソフトウェア
(株)カワイアシスト

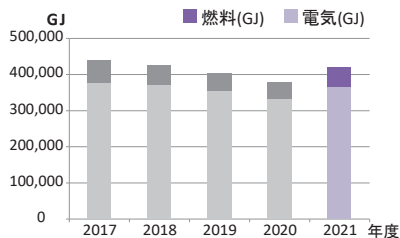
マテリアルバランス

2021 年度におけるエネルギー、化学物質などの投入量と CO₂、排水、化学物質、廃棄物などの排出量は、下記のとおりです。

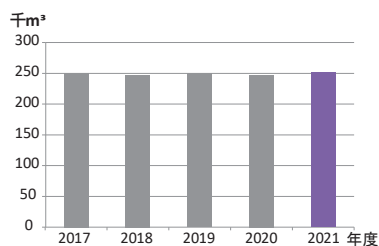
INPUT

エネルギー (GJ)	420,573
電力	365,348
A 重油	4,348
L P G	20,920
灯油	4,626
石炭コークス	25,331
水 (千m ³)	252
井水	76
水道水	105
工業用水	71
化学物質 (t)	99
容器包装 (kg)	13,866
紙	4,016
プラスチック	9,850
車両燃料 (GJ)	18,954
ガソリン	18,173
軽油	781

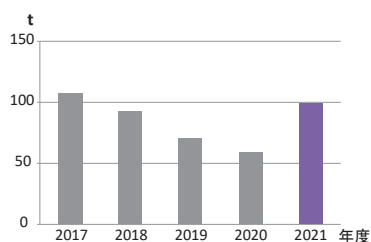
エネルギー投入量



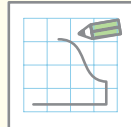
用水使用量



化学物質投入量



開発・設計



調達・製造



輸 送



販売・サービス



お客様



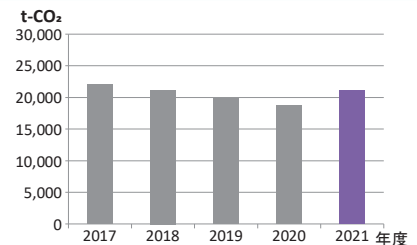
リユース リサイクル



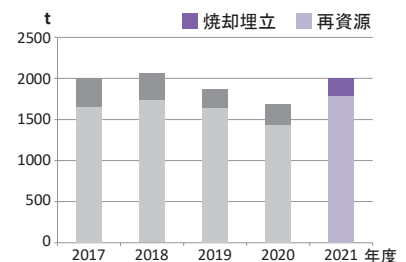
OUTPUT

温室効果ガス (t-CO ₂)	21,067
排水 (千m ³)	202
化学物質 (t)	20
大気放出量	12
廃棄物	8
容器包装 (kg)	6,747
廃棄物 (t)	2,004
焼却・埋立	208
再資源化	1,796

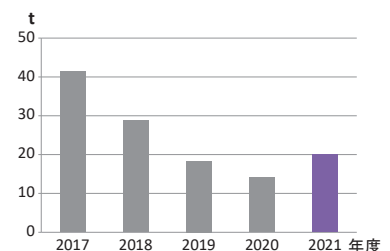
CO₂ 排出量



廃棄物排出量



化学物質排出量



環境負荷データ

環境負荷サイト別一覧

			参 考		基準年					
			1990	2017	2018	2019	2020	2021	基準年比	
電洋工場 静岡県磐田市 事業内容：ピアノ製造 敷地面積：168,218㎡	INPUT	電気	GJ	101,341	55,627	55,292	54,549	48,950	55,623	0.6%
		燃料	GJ	28,253	18,032	16,876	16,668	14,989	14,894	-11.7%
		水	千 m³	3330.0	38.1	45.2	48.5	48.6	51.9	14.8%
		化学物質	t		39.1	44.6	46.1	38.6	79.2	77.6%
	OUTPUT	CO₂ 排出量	t -CO₂	7,632	3,462	3,388	3,343	3,001	3,302	-2.5%
		化学物質	t		10.1	12.3	13.8	10.1	16.9	37.4%
		廃棄物 焼却・埋立	t	437.3	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	
		廃棄物 再資源化	t	102.0	836.0	854.5	921.5	764.6	945.7	10.7%

カワイ精密金属 (株) 浜松工場 静岡県浜松市北区新都田 事業内容：金属部品製造 敷地面積：26,817㎡	INPUT	電気	GJ	1994 年 より稼働	68,526	67,822	63,834	59,118	65,141	-4.0%
		燃料	GJ		22.7	29.1	29.4	22.0	23.6	-18.9%
		水	千 m³		30.0	31.4	28.4	23.6	23.8	-24.2%
		化学物質	t		1.8	3.0	0.0	0.0	0.0	
	OUTPUT	CO₂ 排出量	t -CO₂		3,129	3,097	2,915	2,699	2,974	-4.0%
		化学物質	t		1.1	2.6	0.0	0.0	0.0	
		廃棄物 焼却・埋立	t		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		廃棄物 再資源化	t		57.0	64.0	54.7	32.3	32.6	-49.1%

カワイ精密金属 (株) 松本工場 長野県松本市笹賀 事業内容：金属部品製造 敷地面積：14,612㎡	INPUT	電気	GJ	57,070	48,971	49,627	46,436	45,629	50,566	1.9%
		燃料	GJ	7,132	5,473	4,194	3,417	4,024	3,867	-7.8%
		水	千 m³	42.1	79.6	67.0	69.1	79.0	74.5	11.2%
		化学物質	t		33.5	15.2	0.4	0.5	0.4	-97.4%
	OUTPUT	CO₂ 排出量	t -CO₂	3,674	2,622	2,561	2,325	2,324	2,538	-0.9%
		化学物質	t		26.1	8.6	0.0	0.0	0.0	
		廃棄物 焼却・埋立	t	0.0	2.1	1.8	1.9	1.1	7.2	300.0%
		廃棄物 再資源化	t	61.4	29.9	16.5	8.2	15.3	8.4	-49.1%

(株) カワイキャスティング 石川県羽咋市柳田町 事業内容：鋳鉄鋳物の製造及び販売 敷地面積：41,000㎡	INPUT	電気	GJ	2012 年 より稼働	65,776	59,159	54,354	54,472	64,017	8.2%
		燃料	GJ		28,847	23,875	21,442	20,354	28,796	20.6%
		水	千 m³							
		化学物質	t		19.5	14.6	13.9	12.8	18.2	24.7%
	OUTPUT	CO₂ 排出量	t -CO₂		6,009	5,193	4,720	4,597	5,898	13.6%
		化学物質	t		1.7	2.5	2.7	2.0	2.6	4.0%
		廃棄物 焼却・埋立	t		345.1	298.5	212.6	237.9	197.7	-33.8%
		廃棄物 再資源化	t		611.9	622.9	531.9	500.9	659.9	5.9%

(株) カワイハイパーウッド 静岡県浜松市東区中郡町 事業内容：自動車内装部品製造 敷地面積：15,074㎡	INPUT	電気	GJ	14,787	14,134	16,415	13,174	11,235	9,531	-41.9%
		燃料	GJ	11	2,885	2,771	2,517	2,147	2,210	-20.2%
		水	千 m³	28.6	3.0	3.4	2.7	2.3	2.8	-17.6%
		化学物質	t		13.8	14.8	9.9	7.2	1.5	-89.9%
	OUTPUT	CO₂ 排出量	t -CO₂	1,250	849	945	780	665	592	-37.4%
		化学物質	t		2.4	2.6	2.1	1.5	0.3	-88.5%
		廃棄物 焼却・埋立	t	218.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		廃棄物 再資源化	t	32.3	79.7	91.6	77.1	47.6	46.0	-49.8%

(株) カワイ音響システム 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町 事業内容：防音室・音響部材の製造 敷地面積：2,972㎡	INPUT	電気	GJ	2008 年 より稼働	871	865	881	1,066	1,119	29.4%
		燃料	GJ		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		水	千 m³		0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0%
		化学物質	t							
	OUTPUT	CO₂ 排出量	t -CO₂		40	39	40	49	51	30.8%
		化学物質	t							
		廃棄物 焼却・埋立	t		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		廃棄物 再資源化	t		7.1	11.0	15.0	18.0	27.0	145.5%

本社 静岡県浜松市中区寺島町 事業内容：本社機能、研究開発 敷地面積：6,784㎡	INPUT	電気	GJ		6,207	5,751	5,574	5,710	5,660	-1.6%
		燃料	GJ		140	102	160	166	136	33.3%
		水	千 m³		3.6	3.4	3.7	3.8	3.2	-5.9%
		化学物質	t							
	OUTPUT	CO₂ 排出量	t -CO₂		293	269	265	272	268	-0.4%
		化学物質	t							
		廃棄物 焼却・埋立	t		4.2	5.5	3.7	11.1	0.0	-100.0%
		廃棄物 再資源化	t		22.9	78.9	56.8	55.8	75.9	-3.8%

第三者意見



東京工業大学 環境・社会理工学院 教授
中崎 清彦 先生

環境社会報告書の名称は「KAWAI Report」に改称され、第6次中期経営計画（2019年4月から2022年3月）のまとめと、2022年4月からスタートした、新たな事業環境での堅実な成長と位置づけた第7次中期経営計画が適正に報告されている。「100年ブランドの確立」と、さらにその先の継続的な発展に向け、内容も「環境」「社会」「ガバナンス」に「サステナビリティ」を加えて、「サステナビリティ」を強く意識したものとなっている。特に、環境(E)、社会(S)、ガバナンス(G)の各項目について「指標」、「実績」、「関連するSDGs」が一覧にまとめられており、環境、社会、ガバナンスに対する様々な課題に取り組むことでSDGsに貢献したいという会社の方針と取り組み状況が分かりやすく明示されている。

第6次中期経営計画の振り返りの中では、困難なコロナ禍の状況にあっても着実に業績を伸ばして、最終年度である2021年度には連結損益は目標を大きく上回ったことが報告されている。また、第18回ショパン国際ピアノコンクールのファイナルにて、フルコンサートピアノSK-EXを使用した3名の内、2名が入賞を果たすなど、優れた品質の製品が世界的にも高く評価されていることが示されている。一方、環境に対する取り組みでは、基本理念、組織、方針、環境マネジメントシステム、ガイドラインが分かりやすく示されている。環境負荷低減の取り組みでは、CO₂排出量、廃棄物排出量ともに、売上高原単位で大幅な削減に成功している。また、省エネ法対応では、(株)河合楽器製作所は6年連続、カワイ精密金属(株)

は昨年から継続して最高クラスのSクラスを達成していることがわかる。加えて、2007年から継続しているインドネシアの「カワイの森」植林活動において、2021年度には約700ha、75万本に達し、カワイグループ全体のCO₂排出量の46%程度を吸収する試算となっている。以上のように、環境に対する取り組みも大きな成果につながっていることがわかる内容となっている。

この報告書から新たに従業員に対する取り組みが独立した項目として数ページに渡って取り上げられている。多様な人材が活躍できる「ダイバーシティ」に配慮すること、また、仕事と生活の両立を支援する「ワークライフバランス」を推進することによって、「社員を大切にし、明るい企業をめざす」という企業理念を実現したいと考えていることが伝わってくる報告書となっている。さらに、健全な企業経営体制の構築のために従来から取り組んでいるコンプライアンス教育と啓蒙についても適正にまとめられている。

世界的にもサステナブルが重要なキーワードとなっている。カワイは長きにわたって優良な企業として発展を続け、2027年には創立100周年を迎える。この100周年という偉大な金字塔もカワイにとっては一里塚に過ぎないであろう。目指している「100年ブランド」では100年、そしてさらにその先の継続的な発展に向けての考え方が示されている。カワイが「100年ブランドの確立」とともに長く優良な企業として発展していくことを期待している。

第三者意見をうけて

中崎先生には、本年度も第三者意見として、本報告書に対するご評価、貴重なご意見を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022年度からは報告書の名称を「KAWAI Report」に改称し、従来から取り組んでいるESGの内容に加え、第7次中期経営計画「Resonate 2024」で示された「サステナビリティ」についての取り組みをご理解いただけるように心がけました。

その中で、環境負荷低減の取り組みとして2007年から継続して実施しているインドネシアの「カワイの森」植林活動や、従業員に対する「ダイバーシティ」「ワークライフバランス」についての取り組み、またコンプライアンスについての取り組みをご高評価いただけたことは大変喜ばしく、さらに積極的に推進してまいりたいと考えます。

今後も、サステナビリティ方針に掲げている通り、地球環境・社会との調和、さらには経営の健全性を確保することにより、企業としての持続的な発展に努めるとともに、長期ビジョン「100年ブランドの確立」と持続可能な社会の実現に貢献できるよう努めてまいります。

(カワイ地球環境委員会 事務局)



株式会社 河合楽器製作所

お問い合わせ先

カワイ地球環境委員会

事務局：総務人事部CS環境室

〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町 200 番地

TEL：053-457-1252 FAX：053-457-1300

URL：<https://www.kawai.co.jp/>

